

専門家からの提案書

経営にまつわる困りごとに、専門家からアドバイスをいたします。

今月の提案者



株式会社青山プロダクション
代表取締役

青山 夕香氏

address 札幌市中央区南1条西16丁目1番323号
春野ビル3階

E-mail yukaaoyama714@yahoo.co.jp

URL http://aoyamayuka.com

topic 大切! コンプライアンス~やっていいこと・悪いこと~

problem 社員にSNSの発言リスクを知ってもらいたい

たった1枚の写真で人生台無し!? 社員に理解させたいSNS問題

スマートフォンの普及も相まって、フェイスブックやツイッター、ブログといったSNSを使う人が急増しています。個人の考えをネット上で不特定多数の人に発信することに抵抗がない人も多くいます。その内容が大問題を招いたり、罪になることもあるということまで考えずに投稿している人も多のです。問題が起きてしまってから「知らなかった」「こんなことになるとは思わなかった」と後悔しても、取り返しがつかないこともあります。

SNSで何かを発言する、言葉を残す、写真を掲載する

ということは、知らない大勢の人に向かって大声で叫んでいることと同じです。「問題が起こったら削除すればいいや」と、簡単に考えがちですが、一度、流出した情報は簡単には取り消せません。企業は内定者を含め、従業員にSNSの正しい扱い方を理解させることも求められています。個人だけの問題ではなく、「〇〇会社の従業員が、このような内容を投稿した」という具合に、企業問題として見られることもあるのです。これは、アルバイトやパート、派遣社員にも当てはまる問題です。

処方箋
その1

知らなかったでは済まされない罪になる問題の一例

- 人の写真を勝手に撮影
- 書店で並んでいる本の数ページを撮影
- 撮影禁止の場所での撮影
- 人気タレントの写真を撮影しネットで販売



最近起こったSNSの問題

- コンビニエンスストアのアイスクリーム用冷凍庫の中で涼を取る男性の写真が投稿され「不衛生だ」と非難され店舗の休業が決定
- 大手すしチェーン店のアルバイトスタッフが備品のはさみを店舗の調理器具で天ぷらにしシャリの上に乗せるまでの様子をスマホで撮影し投稿
- 飲食店のアルバイトが冷蔵庫に入った写真を投稿し、その後閉店が決定
- そば店のアルバイトが大型食器洗浄機に入っている画像が投稿され閉店、その後倒産

こんな投稿要注意!

- 例 **フェイスブック** ● 社員「やっと明日休みだー! 飲むぞー!!」というメッセージとともにビールで乾杯する様子を投稿
読者「あれ、この社員さん、確かまだ未成年だったはず・・・」
- 例 **ツイッター** ● 社員「すごいニュースです! うちのホテルに有名人の〇〇さん来店。それも彼女と」
読者「有名人だからって個人情報を守れないホテルは信用できない」
- 例 **ブログ** ● 社員「〇〇課長むかつく。あんなやつが課長やってるなんて信じられない。うちの会社はバカ」
読者「〇〇課長さんのことじゃないか! これは知らせなきゃ」

まだまだ多くの従業員による、悪ふざけやいたずらといった不適切行為の投稿があります。ちょっとした出来心で投稿した結果、閉店や倒産ということもあるのです。「わかっている当たり前」といった思い込みを捨てて、正社員のみならず、アルバイトにもコンプライアンス教育の徹底をしましょう。